

No.51  
2019  
10/29



# はちおうじ

JR東労組  
八王子地本  
八王子地本  
ホームページ  
「東労組八王子」で検索



## 「ワンマン運転拡大」について再説明すべき要求提出！ 安全とサービスレベルが向上しない施策は実施すべきでない！

10月20日に本部へ提出！！

### 【再説明すべき要求】

1. 新たな30年を展望する施策実施に向けた確認メモに則り新たな施策を行うこと。
2. 2040年（20年後）の各地方における人口予想を示すこと。また東日本における採用人数の想定を示すこと。
3. 車掌業務の役割、意義を明らかにすること。
4. 「今までどおり、いる人で協力するなどしてやっていく」「ケースバイケース」「駆けつけ文化の深度化」「走行中の車内秩序維持は難しい」という発言は、安全を放棄する発言であることから、安全に対する会社の認識を明確にすること。
5. 省令上問題なければ、現行よりも安全とサービスレベルが上がる根拠を明らかにすること。
6. 現状での委託駅、無人駅での安全やサービスに対する課題を明らかにすること。また新たにワンマン運転を拡大する線区の駅職場が委託駅や無人駅で可能とする根拠を示すこと。
7. 新たなワンマン運転拡大に伴う異常時や設備故障、旅客対応など、あらゆる事態を想定した取扱いを明らかにすること
8. 運転取扱い実施基準に基づいた運転取扱いが出来る体制とすること。
9. 運転士が行う業務について明らかにすること。
10. 各地本管内で導入する線区及び導入にあたってのスケジュールを明らかにすること。
11. ワンマン運転に関わる試験導入された設備の実証実験データを示すこと。また成果と課題を明らかにすること。  
(現ワンマン運転線区の乗降時分、町田駅スマート柵による乗降時間の想定と遅延状況、短、中編成半自動ドアの乗降時分の想定、現状。北八王子駅、3D検知システム、車側カメラ、モニター)
12. ワンマン運転の導入を検討している線区を明らかにし、どのような形式でワンマン運転を計画しているのか明らかにすること。それに伴う、今後の乗降扱いの方法について明らかにすること。

解明要求では、今施策によって安全・サービスが向上する具体的根拠が示されておらず、施策の全容が明らかになっていません。よって、解明されていないことが多くある中で、基本交渉に入るべきではないと主張してきています。「新たな30年を展望する施策実施に向けた確認メモ」に則り労使議論を行い、職場で奮闘する組合員の不安を解消し、安全で安心して働ける職場を創り出さなくてはなりません。